

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## チャバネアオカメムシの8月上旬までの発生量について

2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査の結果から、**本年4月～8月上旬の発生量は平年及び前年より多いと予想されます。**については、今後の飛来状況に注意するとともに、下記を参考に防除を徹底するよう生産者への指導をお願いします。



記

落葉の中で確認した  
チャバネアオカメムシ

### 1. チャバネアオカメムシの越冬状況

平成30年2月上～下旬に、県内22地点の常緑広葉樹林から落葉を採集し、越冬中のチャバネアオカメムシの数を調査した結果、平均越冬虫数は0.67頭/㎡（平年0.23頭/㎡、前年0.14頭/㎡）、越冬地点率は68.2%（平年37.7%、前年18.2%）であり、発生が多かった平成14年、16年、18年に比べ少ないものの、平年及び前年より多かった。これらの結果から、県内全体の越冬量は前述の多発生年に比べ少ないものの、平年及び前年より多いと考えられる（表1参照）。

### 2. 本年のチャバネアオカメムシの発生予想

チャバネアオカメムシの平均越冬虫数と予察灯での5月～8月上旬までの誘殺虫数には、高い相関があり、本年4月～8月上旬におけるチャバネアオカメムシの発生量は、**平年及び前年より多いと予想される。**

### 3. 防除対策

- 1) 越冬密度は地域によって異なるため、発生動向に注意する。また、春先以降、気温が高く推移した場合は、早い時期から果樹園へ飛来する恐れがあるため、園内をこまめに見回り、早期発見・早期防除に努める。
- 2) 果樹カメムシ類は、樹高の高い樹木に一旦飛来し、その後果樹園に飛来する傾向があるので、防風樹等は必要以上に高くないように剪定をする。
- 3) 果樹カメムシ類の発生量と果樹園への飛来予測時期については、当センターが発表する各種情報及び下記ホームページを参考にする。

表1 チャバネアオカメムシの越冬状況の調査結果.

調査地域	H30	平年 <sup>2)</sup>	(参考)		
			H14 (多発年)	H16 (多発年)	H18 (多発年)
	頭/m <sup>2</sup>	頭/m <sup>2</sup>	頭/m <sup>2</sup>	頭/m <sup>2</sup>	頭/m <sup>2</sup>
みやき町	1.0 <sup>1)</sup>	0.47	-	-	-
吉野ヶ里町	0.3	0.20	1.0	1.5	1.7
神崎市	0.7	0.76	0.7	0	0
佐賀市	0	0.17	0.7	1.8	1.2
小城市	0	0.10	0.3	0.3	0.3
多久市1	0	0.18	2.0	0.5	0.3
多久市2	1.0	0.04	-	-	-
唐津市1	0.7	0.07	0.4	0.9	1.2
唐津市2	0	0.03	-	-	-
唐津市3	0.3	0.07	-	-	-
伊万里市1	0	0.06	1.2	1.2	2.2
伊万里市2	0.7	0.22	-	-	-
伊万里市3	1.3	0.44	-	-	-
武雄市1	0.3	0.19	6.7	7.3	3.3
武雄市2	1.3	0.14	-	-	-
鹿島市1	1.3	0.19	1.1	1.3	1.4
鹿島市2	2.7	0.14	-	-	-
鹿島市3	0.7	0.26	-	-	-
太良町1	1.3	0.21	2.6	2.1	1.5
太良町2	1.0	0.34	-	-	-
太良町3	0	0.60	-	-	-
太良町4	0	0.23	-	-	-
平均	0.67	0.23	1.67	1.69	1.31
越冬地点率(%)	68.2	37.7	100.0	90.0	90.0

<sup>1)</sup>各地点3か所(1か所/m<sup>2</sup>)の落葉を採集して持ち帰り、その中から確認した越冬虫数の平均

<sup>2)</sup>平年値はH20~H29までの10か年の平均

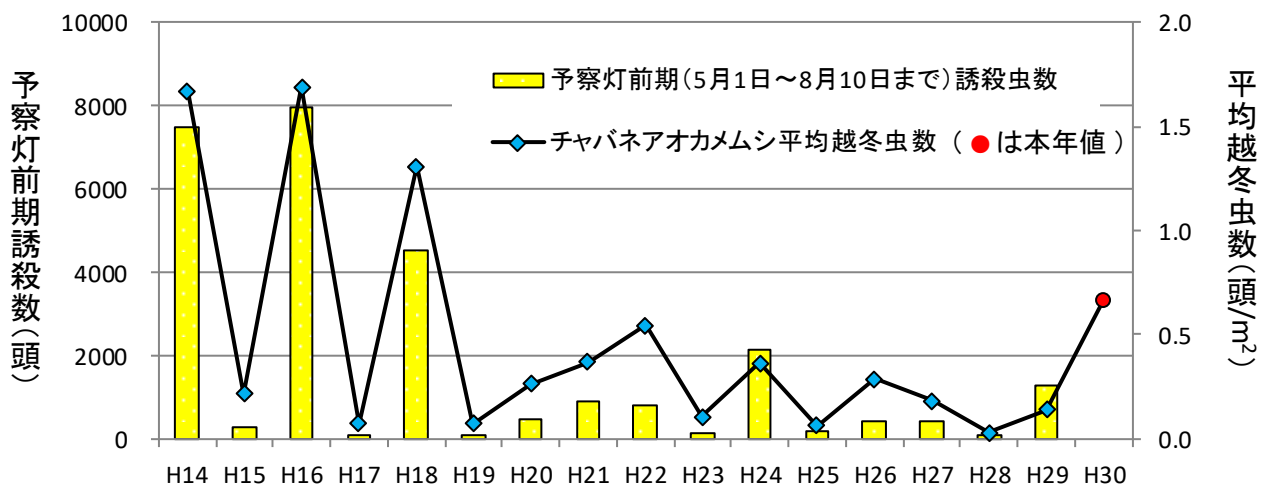


図1 チャバネアオカメムシの平均越冬虫数(頭/m<sup>2</sup>)及び予察灯前期誘殺虫数の年次推移.

- ① 誘殺虫数は県内に設置した予察灯3台における総誘殺虫数
- ② 越冬虫数は県平均

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840-2205 佐賀市川副町南里1088  
 TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085